



Title	表紙、訂正、前号目次、編集後記、奥付、裏表紙
Author(s)	
Citation	関西大学中国文学會紀要, 27
Issue Date	2006-03-20
URL	http://hdl.handle.net/10112/12594
Rights	
Type	Others
Textversion	publisher

關 西 大 學

中國文學會紀要

第二十七號

北岡正子教授退休記念号

平成十八年三月

序	萩野脩	二
李白「静夜思」その後	森瀬壽	三 (一)
一九五〇年代台湾の「国語」運動		
——中国共産党の「漢語規範化」運動を視野に入れて——	黄英哲	(一七)
国立北京女子高等師範学校校長許寿裳の辞職をめぐって		
——女師大事件への前奏——	山内一惠	(四一)
車王府本鼓詞『三國誌』の成立過程について		
——『三国志演義』との関係を中心に——	後藤裕也	(六三)
『水滸傳』における「好漢」の概念	林雅清	(八九)
賈誼年譜長編序説——資料編年上の問題点を中心に——		
	城山陽宣	(一〇七)
謝冰心の一面——したたかさ——	萩野脩	二 (1)
スペイン国立図書館所蔵漢籍目録 (古典の部)	井上泰山	(15)
台湾人詩人呉坤煌の東京時代 (1929年-1938年)		
——朝鮮人演劇活動家金斗鎔や日本人劇作家秋田雨雀との交流をめぐって——	下村作次郎	(31)
呉趼人の悪玉小説に見られるトリックスター性		
——「発財秘訣」を中心として——	松田郁子	(51)
産み落とされた“文献”		
——映画『護士日記』を読む——	好並晶	(71)
魯迅と現代日本版画		
——谷中安規と『白と黒』『版芸術』から——	関口知実	(91)
グレース・ボイントンについて		
——謝冰心、楊剛との交流を中心に——	牧野格子	(111)
龍瑛宗の読んだ中国文学		
——日本語の翻訳による受容——	王惠珍	(131)
明代白話小説に見る女性の才		
——『三言』を中心にして——	張軼欧	(151)
<世説体>の著作から見た晚明文学の一側面	蔡麗玲	(173)
『美理哥合省国志略』の1844年香港版は誰の手によるものか		
——“美”と“合衆国”を手がかりに——	谷口知子	(193)
女媧の変遷について		
——文献と画像石資料にもとづいて——	重信あゆみ	(213)
中国文学史上の福建の文学者たち		
……………	王炳根(述) (翻訳; 牧野格子)	(239)
彙報		(一四一)

【訂正】

執筆者一覽

黃 英 哲 (誤) 愛知大学現代中国学部助教授 → 愛知大学現代中国学部教授

王 惠 珍 靜宜大学台湾文学系 → (追加) 靜宜大学台湾文学系助理教授

前号目次

序	北岡 正子	
老舎のアメリカ時代——『鼓書芸人』覚え書き	日下 恒夫	(1)
可能補語・程度補語・様態補語の誤用例文とそれに対する教授法について	西川 和男	(13)
《马氏文通》以前中国人的语法研究——关于毕华珍《衍绪草堂笔记》的品词分类法	内田 庆市	(23)
鄭孝胥與水野梅曉的交往及其思想初探 ——以霞山文庫所藏《使日雜詩》卷軸為線索	陶 徳民	(35)
江戸時代における唐話資料と「白話風」小説 ——『訳家必備』、『忠臣蔵演義』と『海外奇談』	奥村佳代子	(55)
T. S. Bayer (1694-1738) の『Museum Sinicum』(1730)	西山美智江	(75)
浅文理にみる平易化の特徴について——マタイによる福音書からの考察	永井 崇弘	(93)
初期中国語訳聖書の系譜——初探・『四史攸編』とその語彙について	塩山 正純	(107)
描写型V得A与评价型V得A	史 彤嵐	(123)
Edkins の『官話文法』における文法事項について	南部 まき	(137)
現代中国語の要求表現——その使い分けに関する考察	鷹野由紀子	(155)
中国語品詞名称の変遷について——19世紀から20世紀初頭を中心に	伊伏 啓子	(183)
高等学校中国語教育についての一考察——CFLとL1メンテナンス	神道美映子	(197)
中上級学習者への通訳トレーニングメソッド応用とその展望	古川 典代	(215)
出土簡帛と経学	郭 齐勇 (翻訳)	(一)
歴史と社会——中国近代史学の回顧	王 汎森 (翻訳)	(二)
彙報	水野善寛	(三)

◆ 編集後記 ◆

◆一九七四年四月に文学部に就任されて以来、三十二年の長きにわたり中国文学および中国語の分野において教育と研究に尽力された北岡正子教授が、この三月をもって定年によりご退職されることとなった。◆北岡先生といえ、あのきびきびとしたお話ぶりがまっさきに思い浮かぶ。歯切れの良い口調は、そのまま姿勢の美しさに結びつく。一本筋の通ったその姿に憧れる人は多い。著名な魯迅研究者であり女性史研究者でもある先生は、学外の研究会の中心メンバーとして活躍してこられたが、会の面々が遙々研究室を訪れることもたびたびであった。また学内にも、隠れ正子ファンが潜んでいると伝え聞く。◆赴任された関西大学の中国文学科は中国語中国文学科、中国語中国文学専修、来年度からは中国語中国学専修と、その名を変え、大学を取り巻く環境も、中文の置かれる状況も変化したけれど、先生はそのときどきの学生に対して変わらぬ慈しみをもって接してこられた。特に、志高き女子学生にとっては、先生は常に目標であり支えであった。先生は人前でけっして弱音を吐いたりはなさらないけれど、三十年ものあいだ、中文でたったひとりの女性教員として、多くの学生に勇気を与える存在であり続けた。ご苦労はいかばかりであったかと思う。その厳しくも愛情深い指導を受けることのできた学生は、どれほど幸運であったことだろう。◆ここに、北岡正子先生の長きにわたる学恩に感謝し、またそのご功績を讃えるため、紀要第二十七号を「北岡正子教授退休記念号」として刊行する。なお、先生の新著『魯迅——救亡の夢のゆくえ』が関西大学出版部より二〇〇六年三月に出版されるとのこと、この場を借りてお知らせする。(編集子)

執筆者一覧

王重谷	蔡麗	張軼	王惠	牧格	関知	好並	松下田	井村	萩上	城野	林陽	後雅	山裕	黄一	森英	森壽	
信口	あゆみ	知子	麗玲	軼欧	惠珍	格子	知実	並晶	郁子	作次郎	泰山	脩二	陽宣	雅清	裕也	一惠	英哲
炳根	あゆみ	知子	麗玲	軼欧	惠珍	格子	知実	並晶	郁子	作次郎	泰山	脩二	陽宣	雅清	裕也	一惠	英哲
冰心文学館常務副館長	大阪府立大学大学院生	本学非常勤講師	本学大学院生(中国文学専攻)	本学非常勤講師	静宜大学台湾文学系	本学非常勤講師	本学大学院(中国文学専攻)修了	本学非常勤講師	本学非常勤講師	天理大学国際文化学部教授	本学学教	本学学教	本学非常勤講師	本学大学院生(中国文学専攻)	本学非常勤講師	本学非常勤講師	愛知大学現代中国学部助教

平成十八年三月二十日発行

關西大學

中國文學會紀要 第二十七號

郵便番号 兵四八六八〇

大阪府吹田市山手町三三三三關西大學文學部内

編輯兼
發行人

關西大學中國文學會

〇〇六六六—〇三六(直)

振替口座 〇〇九〇—三〇六五番

代表者

萩野脩二

奈良県天理市稲葉町八〇番地

印刷所

株式会社 天理時報社

The Kansai University Bulletin of Chinese Studies

No. 27 March 2006

-
- A view about commentaries on *Li Po's Ching-Yeh-Ssu* in late China
.....MORISE Toshizou (一)
- The Taiwanese National Language (guoyu) Movement of the 1950s
—with a consideration of the Chinese Language Standardization Movement
following the Founding of People's Republic of China—
.....HUANG Yin-Che (一七)
- The resignation of the preident Xu Shou shang (許壽裳)
of National Beijing girl's high normal school
—The prelude to Beijing women's college of education Incident—
.....YAMAUCHI Kazue (四一)
- A production process of the storytelling *Sanguozhi*GOTO Yuya (六三)
- The Usage of “*Hao Han*” (好漢) in *Shui Hu Zhuan* (水滸傳)
and Its MeaningHAYASHI Masakiyo (八九)
- The Preface of JiaYi's ChronologySHIROYAMA Takanobu (一〇七)
- The Inner Strength of Xie BingxinHAGINO Shuji (1)
- Catalog on Chinese Old Books in the National Library of Spain
.....INOUE Taizan (15)
- The Taiwanese poet Wu Kun-huang during his Tokyo days (1929–1938)
—Concerning cultural exchanges between the Korean dramatist Kim Du-yong
and the Japanese playwright Akita UjakuSHIMOMURA Sakujiro (31)
- Trickster character seen in Wu Jian Ren's badcharacter novel
—Mainly 「fācáimijué」MATSUDA Ikuko (51)
- “Literature” as a necessary conclusion
—Read the Film *The diary of a nurse*YOSHINAMI Akira (71)
- Luxun and Japanese modern printSEKIGUCHI Tomomi (91)
- Grace M. Boynton—Relations with Xie Bingxin and Yang Gang
.....MAKINO Noriko (111)
- Chinese Literature in Long's Reading
—Adoption into Long's Translation of Japanese Literatur
.....WANG Huichen (131)
- A Study on Women's Ability in Vernacular Stories of Ming Dynasty
.....ZHANG Yi-ou (151)
- Late Ming Literature as Seen In The “*Shishuo Xinyu*” Imitations
..... TSAI Li-ling (173)
- Who was responsible for the 1844 “Hongkong Publication”
of *Meilige Heshengguo Zhilue*TANIGUCHI Satoko (193)
- The History of NuhuoSHIGENOBU Ayumi (213)
- The Men of Letters in Fujian Province on Chinese Modern
Literary HistoryWANG Binggen, (Trans. MAKINO Noriko) (239)
- Annual report (一四一)
-

Edited and Published by The Society for
Chinese Studies, Kansai University
3-3-35 Yamate-cho Suita-shi, Osaka
564-8680 Japan